

授業科目名	学校図書館メディアの構成(2100502)		
時間割名	学校図書館メディアの構成(12114)		
時間割担当	伊崎一夫 米川雅士		
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	月・2 木・3		

授業の目標・概要

学校図書館メディアの構成に関する理解および実務能力の育成を図ることを目的としている。学校図書館メディアの種類と特性、選択と構成、組織化に関する理解、目録の意義と機能、キーワード検索、日本十進分類法の解説、基本件名標目表の解説、目録の意義、日本目録規則の解説を行い、コンピュータ目録およびそれらの実務能力育成を図る。また、多様な学習環境と学校図書館メディアの配置も触れる。授業方法は、配布プリントを基にした講義、および資料組織(分類、件名、目録)の演習を通じて理解を深める。

学習の到達目標

- (1)学校図書館の資料の収集と選択について理解する。
- (2)学校図書館のコレクションの構築と基本方針について理解する。
- (3)情報メディアの組織化について理解を深める。
- (4)目録の基礎的な機能について理解する。
- (5)主題目録を構成する分類表、件名標目表の基本機能を理解する。

授業方法・形式

- 1.それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
- 2.必要に応じて、よりよい指導法などに関するディスカッションを行う。

授業計画

- 第1回 高度情報社会と学校図書館(担当:伊崎一夫)
- 第2回 学校図書館メディアの種類と特性(1)(担当:伊崎一夫) 書籍
- 第3回 学校図書館メディアの種類と特性(2)(担当:伊崎一夫) マルチメディア
- 第4回 学校図書館メディアの構築の指針、方針、基準(担当:伊崎一夫)
- 第5回 情報メディアの選択、ツール、評価、今後の課題(担当:伊崎一夫)
- 第6回 情報メディアの組織化(1)サイン計画の理解(担当:伊崎一夫)
- 第7回 情報メディアの組織化(2)(担当:伊崎一夫) 配架、別置、複数主題の取扱を理解
- 第8回 情報メディアの組織化(3)(担当:伊崎一夫) 目録の基本的な機能・役割
- 第9回 情報メディアの組織化(4)(担当:米川雅士)
Web-OPACの検索機能とその画面変遷の意味を考える
- 第10回 情報メディアの組織化(5)(担当:米川雅士) Web-OPACの「図書」と「雑誌」の違いを考える
- 第11回 目録規則の基礎について(担当:伊崎一夫)
- 第12回 分類法、件名標目表の基本機能について(担当:伊崎一夫)
- 第13回 学習環境の多様化を支援する学校図書館の機能について(担当:伊崎一夫)
- 第14回 学習環境の多様化と学校図書館メディアの構築(担当:米川雅士)
- 第15回 授業の総括として、これまで身につけたことについてまとめる(担当:伊崎一夫)

成績評価の基準

毎回の授業中に行う小レポートと毎回の課題レポートを中心に評価し、授業に対する理解度をチェックしていく。(30%)さらに、学習指導案、図書館利用計画の作成の緻密さなどを評価する。(30%)さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する。(40%)

準備学習・復習及び授

- 1.配布資料等を読み、疑問については熟読したり調べたりして解決する。
- 2.学習指導案や、図書館活用計画などのモデルを関連図書などから取り出しておく。
- 3.学校図書館に実際に足を運び、それぞれの工夫や特徴についてまとめる。

履修上のアドバイス及

大学や公共図書館を実際に利用(登録、貸出、行事参加、ホームページ閲覧等)し、蔵書構成の工夫や図書館間の連携について考えてみましょう。ボランティア先の学校図書館の司書教諭や学校司書の方に学校図書館の現状についてインタビューすることも有効です。

教材・教科書

必要に応じて資料等を配布する。

参考書

『シリーズ学校図書館学第2巻 学校図書館メディアの構成』 全国学校図書館協議会 「シリーズ学校図書館学」編集委員会編 2011.8